

(3) 県負担・補助率の考え方

県実施計画の効果的な実施のため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	40	餌付け飼料の購入
役務費	46	経口ワクチン送付料
委託料	5,743	摂食率向上調査事業委託、餌付け作業委託
合計	5,829	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

豚熱経口ワクチンの野外散布実施に係る指針（令和3年3月30日付け2消安第5983号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）
岐阜県経口ワクチン野外散布実施計画（2021年4月作成）

(2) 国・他県の状況

経口ワクチン野外散布に係る助成事業は、(独法)農畜産振興機構(ALIC)から(公社)中央畜産会が受託し事業を実施しているが、令和4年度において、摂食率向上に向けた事業メニューは示されていない。

(3) 後年度の財政負担

野生いのししの経口ワクチン野外散布は、野生いのししにおける感染が終息するまで継続され、毎年県計画の評価や見直しが必要となる。

(4) 事業主体及びその妥当性

本県は、野生いのししの豚熱陽性率が令和2年7月以降、0～数%程度で推移しており、拡散し続けている他県とは違った状況にある。

そのため、国の既存事業では実証されていない、新たな経口ワクチン散布方法等を全国に先駆けて独自で取組んでいくため、県実施は妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

効果的な経口ワクチン散布により、摂食率を向上させることで、感染拡大を防止し、豚熱の終息を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
① 抗体付与率	36.0%	—%	60%	60%	60%	—%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3期5回経口ワクチン散布を実施 ・ 延べ散布地点数 8,818、ワクチン散布個数 176,360 ・ 抗体付与率（25.7%～71.5%）
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>本県の豚熱拡散防止に向けた経ロワクチン散布について、国際的な先進地であるドイツの学識経験者から、経ロワクチン摂食率向上に向けた取り組みの必要性を指摘されている。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・ 環境中の豚熱ウイルスの終息に向けた、継続した効果的な経ロワクチン散布の実施が必要
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・ 野生いのししの摂食率を高めるため、散布地点の一斉点検。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	